



CRF150F ボアアップキット(174.5cc)取扱説明書

商品番号：01-05-0101

適応車種：ホンダ CRF150F(’05モデルまで)

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

特 徴

- ・ノーマルシリンダーヘッドを使用したシリンダーとピストンのボアアップキット。
- ・ボア径を63.5mm 67mmに拡大し、排気量を156.8cc 174.5ccにアップ。
- ・MIKUNI VM26キャブレターキットや当社製カムシャフトとの相性が良く、更なるパワーアップが望めます。

ご使用前に必ずお読み下さい

！使用燃料についてのご注意！

この製品はノーマルに比べ、高圧縮比となるよう設定しております。燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。レギュラーガソリンを使用された場合、異常燃焼を起こし、本来の性能を発揮しない上にピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。製品取り付け前にフューエルタンクに残っていたガソリンにもご注意ください。レギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

！スパークプラグについてのご注意！

スパークプラグは必ず、DPR9EA-9(NGK)相当以上の焼け型に交換して下さい。その後スパークプラグ電極部の焼け具合により番数を決定して下さい。

- ・取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
- ・この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ・商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ・他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ・この製品は、上記適合車種の専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ・この製品の取り付けにはエンジンの脱着作業が必要です。上記適合車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。
- ・取り付け際には、工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
- ・必ず慣らし運転を行って下さい。
- ・このキットを取り付けると出力アップに伴い発熱量も増加します。長時間の高負荷走行には向きません。
- ・ボルト、ナット、ロックピン、パッキン類の一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。

⚠ 注意 下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

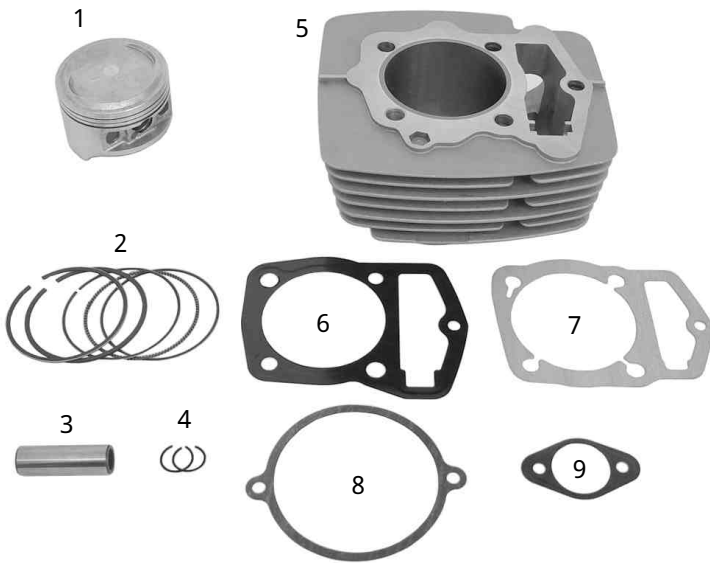
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。(部品の脱落の原因となります。)
- ・ガスケット、パッキン類はよく点検し、摩耗や損傷がある場合は必ず新品部品と交換して下さい。

⚠ 警告 下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。あらかじめご了承下さい。
この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

～商品内容～



番号	部品名	個数
1	ピストン 6 7	1
2	ピストンリングセット	1
3	ピストンピン 1 5 × 4 8	1
4	ピストンピンサークリップ 1 5	2
5	シリンダー	1
6	シリンダーヘッドガスケット	1
7	シリンダーガスケット	1
8	カムスプロケットカバーガスケット	1
9	テンショナーリフターガスケット	1

～取り付け要領～

取り付けにはエンジンの脱着作業をするため、レーシングスタンド等を用いて水平で安全な場所で車両を確実に支える。これからの作業は必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行うこと。

エンジン、各部品の取り外し

ホンダ純正サービスマニュアルを参照し、以下の部品、接続等を取り外す。

- ・シート/L、Rサイドカバー
 - ・フューエルタンク/フューエルホース
 - ・エンジンに繋がる配線
 - ・スパークプラグキャップ
 - ・クラッチケーブル
 - ・クランクケースブリーザーチューブ
 - ・ドライブスプロケット
 - ・エキゾーストパイプ
 - ・マニホールド/キャブレター
- エンジンをマウントしているボルト/ナットを取り外し、エンジンをフレームから取り外す。フレーム等に傷をつけないように注意。

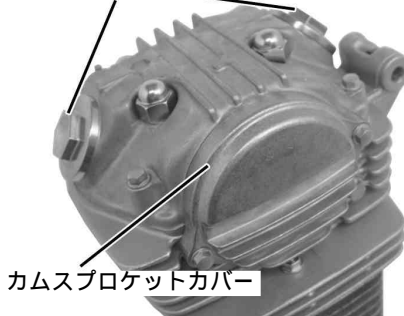
スパークプラグの取り外し

スパークプラグを取り外す。

カムスプロケットの取り外し

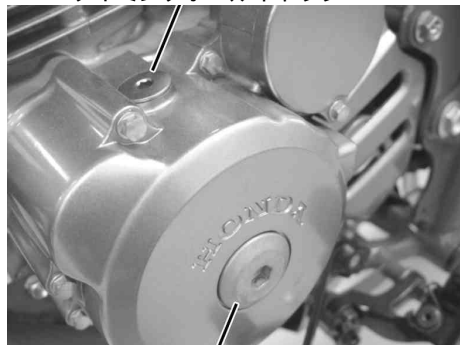
吸・排気両側のタペットホールキャップ/オリング、カムスプロケットカバー/オリングを取り外す。シリンダーヘッドやカムスプロケットカバーにガスケットが残った場合、スクレーパー等できれいにはがす。

タペット
ホールキャップ



タイミングホールキャップ、クランクシャフト
ホールキャップを取り外す。

タイミングホールキャップ



クランクシャフトホールキャップ

フライホイールを反時計方向に回し、圧縮上死点の状態にする。（フライホイールの“T”マークをクランクケースカバーの合わせマークに合わせ、ロッカーアームにガタがある状態）



フライホイールを保持し、カムスプロケット
ボルトをゆるめる。

カムスプロケットボルトを取り外してカム
スプロケットをカムシャフトから外し、カム
チェーンからカムスプロケットを取り外す。

ワッシャ4個/ナット4個、ボルト5本を仮
り止めする。ナットを先に対角に数回に分け
て締め付ける。

規定トルク

シリンダーヘッドナット

: 27 N・m (2.8 kgf・m)

シリンダーヘッドボルト

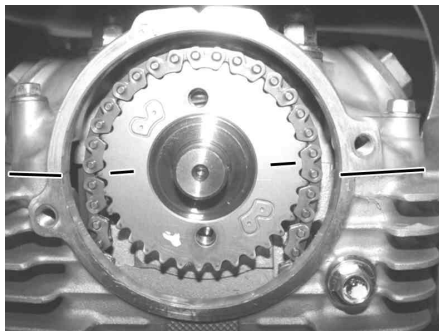
: 12 N・m (1.2 kgf・m)

カムスプロケットの取り付け

フライホイールの“T”マークがクランクケー
スカバーの合わせマークに合っているか確認
する。

カムスプロケットの“I”マークがシリンダー
ヘッドの合わせ面に合うようにカムチェー
ンにカムスプロケットを取り付け、カムシャ
フトにカムスプロケットを差し込む。フライホ
イールを保持し、ボルト2本を取り付ける。

規定トルク 12 N・m (1.2 kgf・m)



カムチェーンテンショナーのリフタがロック
していることを確認する。カムチェーンテ
ンショナーに付属のガスケットを取り付け、シ
リンダーにボルト/ワッシャ2本で取り付け
る。カムチェーンテンショナーのストッパーを
反時計方向に回し、ロックを解除する。カム
チェーンテンショナーのシーリングスクリュー
/Oリングを取り付ける。

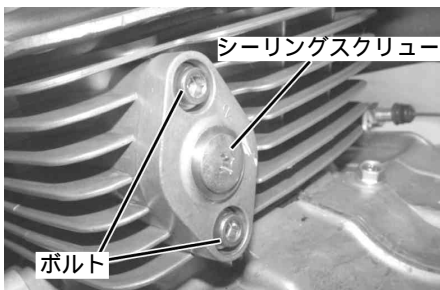
規定トルク

テンショナー取り付けボルト

: 12 N・m (1.2 kgf・m)

シーリングスクリュー

: 4 N・m (0.4 kgf・m)



クランクシャフトを時計方向に回し、再度フ
ライホイールの“T”マークをクランクケー
スカバーの合わせマークに合せたときに、カ
ムスプロケットの“I”マークがシリンダー
ヘッドの合わせ面に合うか確認する。

タイミングホールキャップ、クランクシャフト
ホールキャップを取り付ける。

規定トルク

タイミングホールキャップ

: 10 N・m (1.0 kgf・m)

クランクシャフトホールキャップ

: 8 N・m (0.8 kgf・m)

カムスプロケットカバーにOリングと付属の
ガスケットを取り付け、シリンダーヘッドに
ボルト2本で取り付け。

規定トルク 9 N・m (0.9 kgf・m)

吸・排気両側のタペットホールキャップ/O
リングをシリンダーヘッドに取り付ける。

規定トルク 15 N・m (1.5 kgf・m)

スパークプラグの取り付け

スパークプラグを用意し、取り付け。

規定トルク 18 N・m (1.8 kgf・m)

DPR9EA-9 (NGK)相当以上の焼け型に
交換すること。

エンジン、各部品の取り付け

ホンダ純正サービスマニュアルを参照し、フ
レーム等に傷をつけないように注意してエン
ジンをフレームにセットし、各マウントボルト/
ナットを仮り止めする。ドライブチェーンを取
り付けたドライブスプロケットを、カウンター
シャフトに差し込む。差し込みにくい場合は、エ
ンジンを軽く揺すりながら差し込む。

ドライブチェーンに適度なたるみを持たせたま
ま、仮り止めた各マウントボルト/ナットを
締め付ける。ドライブスプロケットを取り付け
る。

ホンダ純正サービスマニュアルを参照し、取り
外した部品の取り付け、接続を行う。

- ・エキゾーストパイプ
- ・マニホールド/キャブレター
- ・エンジンに繋がる配線
- ・スパークプラグキャップ
- ・クラッチケーブル
- ・クランクケースブリーザーチューブ
- ・シート/L、Rサイドカバー
- ・フューエルタンク/フューエルホース

エンジン始動

1. 使用燃料について

燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用す
ること。
フューエルタンクにレギュラーガソリンが
残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリ
ンと入れ替えること。

2. 各部の点検

各部を点検し、ネジやナット等の緩みが無
いか確認する。

エンジンオイルが規定量入っているか確認す
る。

風通しが良く、安全な場所で十分注意してエ
ンジンを始動する。エンジン内部にエンジン
オイルがいきわたるまで数分間、アイドリン
グでしておく。

エンジンからの異音、各ガスケット部からの
オイルもれ、エキゾーストパイプのジョイン
ト部からの排気漏れ等が無い点検する。

エンジンを切り、充分冷えた後で各部を点検
し、ネジやナット等の緩みが無い再度点検
する。

3. 慣らし運転について

ピストンやシリンダー等を馴染ませるため、
急激なアクセルワークをさけ、エンジン回転
を落とした状態で100km程度の慣らし運
転を必ず行って下さい。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

URL <http://www.takegawa.co.jp>